

平成 30 年度 第 4 回 桜川市地域公共交通会議

【1】日時 平成 31 年 3 月 19 日（火） 午後 2 時から

【2】場所 桜川市役所 大和庁舎 2 階 第 5 会議室

【3】会議次第 1 開会

2 あいさつ

3 議題

(1) 報告事項

①桜川市・つくば市間広域連携バス及び桜川市デマンド型乗合タクシーの

利用状況について・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料 1

(2) 協議事項

①平成 32 年 4 月からの桜川市内巡回ワゴン運行（案）について・・・資料 2

②桜川市公共交通網整備スケジュール（案）について・・・・・・・・・・資料 3

③その他

4 その他

5 閉会

【4】出席者

(1) 委員

No.	所属	役職	氏名
1	桜川市	副市長	猪瀬 幸己
2	(有) 内田タクシー	代表取締役	内田 守
3	岡田ハイヤー合資会社	代表取締役	岡田 高利
4	桃山レンタカー	代表取締役	飯山 進
5	坂戸自動車工業	代表	稲川 安雄
6	関鉄パープルバス (株)	代表取締役社長	長津 博樹
7	茨城県ハイヤー・タクシー協会	専務理事	鬼澤 秀通
8	桜川市区長会連合会	会長	高橋 達也
9	桜川市高齢者クラブ連合会	会長	斉川 芳男
10	NPO ウィメンズネット「らいず」	会員	谷口 典枝
11	桜川市市議会 総務常任委員会	委員長	大山 和則
12	関東運輸局 茨城運輸支局	運輸企画専門官	高見 耕平
13	茨城県政策企画部交通局交通政策課	副参事	島田 敏次
14	筑西土木事務所 道路管理課	課長	早瀬 泰俊
15	関鉄パープルバス (株)	労働組合 自動車部長	増山 康信
16	桜川警察署交通課	課長	安島 優吉
17	地域公共交通マイスター	学識経験者	為国 孝敏
18	桜川市観光協会	副会長	林 清
19	桜川市	市町公室長	小川 豊
20	桜川市	教育部長	佐藤 勤
21	桜川市	保健福祉部長	上野 荘司

【5】欠席者

(1) 委員

No.	所属	役職	氏名
1	ワイズツーリスト	代表取締役	橋本慶晴
2	(株) みやま	代表取締役	沼口照市
3	真壁観光	代表取締役	土生都恵美子
4	茨城県バス協会	専務理事	澤畠政志
5	桜川市PTA連絡協議会 女性ネットワーク委員会	委員長	宮寄智美
6	関東運輸局 茨城運輸支局	首席運輸企画専門官	富澤雄一
7	桜川市商工会	会長	皆川光吉

【6】事務局 桜川市市長公室企画課 秋山健一、小幡康、鶴見健太郎、枝川周平（記録）

【7】会議の経過

(1) 報告事項

①桜川市・つくば市間広域連携バス及び桜川市デマンド型乗合タクシーの

利用状況について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料1

事務局：資料説明

委員：真壁のひなまつり期間中にバスに乗り切れない積み残しが発生したのでしょうか。

事務局：真壁庁舎に47名の方が待つという状況が発生しましたが、積み残しは発生せず、全員乗車することが出来ました。

委員：今後は、更に多くの方の利用を想定して、対応を考えておく必要があると思います。

委員：デマンドタクシーとさくらがわ地域医療センター無料送迎ワゴンが競合しているように思われますが、実態把握の調査などはどのように考えていますか。

事務局：昨年の11月よりさくらがわ地域医療センターへの公共交通アンケートを実施していますが、回収数が少なく傾向が掴めないため、調査方法の見直しを検討しなければならないと考えております。

委員：調査項目を絞り、1日のみの聞き取りで100名程度にあたってみる方法などを検討してみると良いのではないのでしょうか。

※詳細については、「資料1」を参照のこと。

(2) 協議事項

①平成 32 年 4 月からの桜川市内巡回ワゴン運行（案）について・・・資料 2

事務局：資料説明

委員：現在、国ではコンパクトシティプラスネットワークという考え方で、コンパクトシティに都市機能や居住を誘導し、コンパクトシティ間を交通で結ぶ形態を推進しています。このコンパクトシティは基本的に市街化区域を対象としており、市街化区域が 5%、市街化調整区域が 95%という桜川市の状況を考えると、現に点在している居住を市街化区域に誘導しようというのは実態に合わないと思います。そのような中で、今回、桜川市で策定した現在の居住を継続する地区計画とその地区計画エリアを巡回ワゴンで巡るという形態は、分かりやすい先進的な事例となるのではないかと思います。資料の幹線・支線・福祉輸送という 3 つの体系で公共交通を整理しているのは良い方法と思います。また、フリー乗降については警察に確認をいただきながら導入を進めていただきたいと思います。これまでの事例では、降車は比較的スムーズでも、乗車において運転手が利用者かどうかを判別することが難しいことがあると伺っております。それには、一目で利用者と分かるように、利用者に目印となる旗を配布するなどの工夫が必要ではないでしょうか。

委員：この市内巡回ワゴン運行の方法で医療機関への通院は可能なのですか。

事務局：別紙 1 のルート⑧については、さくらがわ地域医療センターへ直接乗り入れることを予定しております。また、それ以外のルートについても桜川市バス「ヤマザクラGO」と結節を図ることにより、乗り継いでさくらがわ地域医療センターやその他の医療機関への通院が可能となると考えております。料金は、市内巡回ワゴン 100 円と桜川市バス 200 円の合計 300 円でご利用いただけます。

委員：さくらがわ地域医療センターへの通院の他、個人病院への通院にも対応したルート設定をお願いします。

事務局：ルートの設定に当たっては、個人病院への通院にもできるだけ対応できるよう検討してまいります。

委員：真壁市街地や岩瀬市街地はいくつかの系統が重なるため、運行頻度が多くて高いサービス水準を確保できると思います。ダイヤ編成においてもヤマザクラGOとの連携を図り利便性を高めることが大切ではないでしょうか。

委員：個人病院から総合病院への紹介に伴う移動の確保という話があります。

委員：個人病院や歯医者などの状況を確認すると良いのではないのでしょうか。

※決定とする。詳細については、「資料 2」を参照のこと。

②桜川市公共交通網整備スケジュール（案）について・・・・・・・・・・資料3

事務局：資料説明

委員：平成32年4月の運行開始ということで、早い段階で運行事業者を選定し、準備を進めていくことが必要ではないでしょうか。

事務局：運行開始に向けて関係各所への説明を進めて参ります。

委員：予算の関係もあると思いますので、手順を踏んで漏れの無いよう進めていただきたいと思います。

※決定とする。詳細については、「資料3」を参照のこと。

③その他

委員：桜川市が公共交通空白地域であることの確認を行う必要があるのではないのでしょうか。公共交通空白地域は、地域公共交通会議で認定することが必要になると思います。現在、桜川市のデマンドタクシーは65歳以上の方や障害のある方の利用に限定されているため、ご利用いただけない方がいて、公共交通空白地の状況があります。

事務局：桜川市のデマンドタクシーは、フルデマンドではありますが利用者が限定されており、利用できない方がいることから、本市には公共交通空白地域があると考えております。国や県には公共交通空白地を要件とした補助制度があり、それらを活用するには、まず、本会議で公共交通空白の認定を受ける必要があります。

事務局：公共交通体系の整備を進めるには、国や県の補助金を積極的に活用することが大切だと思います。

委員：次回5月開催の公共交通会議までに資料を整理し、そこで公共交通空白地域としての認定をいただくという形で進めてはいかがでしょうか。

事務局：そのような形で進めさせていただきたいと思います。

4. その他

事務局：JR東日本「小さな旅」のヤマザクラGO無料乗車クーポン利用結果報告

事務局：平成31年4月ダイヤ改正チラシの説明

委員：配布されたチラシではダイヤの文字が小さくて見づらいため、チラシの大きさを倍にして字を大きくするなどの検討をお願いしたい。

事務局：今後はご意見を踏まえてチラシ作成に取り組みます。